

Lenovo

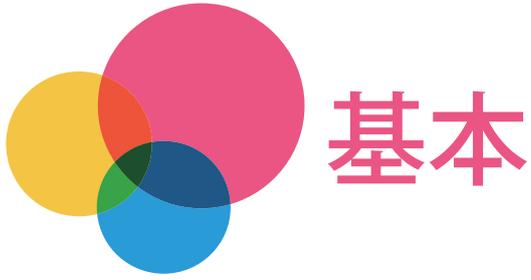
Lenovo TAB6

ユーザーガイド

目次

基本	1
ホーム画面	1
画面の操作	3
通知パネルおよびクイック設定パネル	4
アプリ一覧	4
強制再起動	4
カメラ	5
写真とビデオの撮影	5
スクリーンショットの取得	5
写真とビデオの表示	6
Wi-Fi(無線LAN) 接続	7
Wi-Fi ネットワークの設定	7
VPN の設定	7
テザリングの設定	8
インターネット	9
ウェブページの閲覧	9
ウェブページや画像の保存	10
ユーザー補助の設定	10
地図	11
場所の検索	11
現在地	12
経路の検索	12
連絡帳	13
連絡先の管理	13
SD カード	14
SD カードの挿入	14
ファイルのコピー	14
パソコンとの接続	15
本機とパソコンの接続	15
ファイルの転送	15
キッズスペース	16
キッズスペースの初回設定方法	17
キッズスペースへの切り替え	17

キッズスペースの設定とアプリの管理.....	18
キッズスペースを終了できない場合.....	18
学習モード.....	19
学習モードの使用方法.....	19
学習モードへの切り替え.....	20
学習モードアシスタント.....	20
PCモード.....	21
PCモードの使用方法.....	21
2画面モードの使用.....	22
ご家族向けのアプリ.....	23
おもなアプリの概要.....	23
付録.....	24
お問い合わせ先.....	24
電子放射に関する注意事項.....	25
環境、リサイクル、破棄に関する情報.....	27
ENERGY STAR モデルについて.....	28
輸出種別に関する注意事項.....	28
保証とアフターサービス.....	29
海外でのご利用について.....	30
トラブルシューティング.....	30
本製品の比吸収率(SAR)について.....	31
Specific Absorption Rate (SAR) Information for this Product (for Japan).....	33



注:本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、以下に記載されている情報を必ずお読みください。

- 安全上の注意と保証およびクイックスタートガイド

注:本書で記載している画面表示は、実際の表示と異なる場合があります。

ホーム画面

本機を使用する場合、最初にホーム画面が表示されます。ホーム画面は、使いやすいように数種類の便利なアプリとウィジェットでセットアップされています。



ホーム画面は、いつでもカスタマイズできます。

- ホーム画面

最初に表示される「基本ホーム画面」には、アプリの他にGoogle 検索バーとデジタル時計ウィジェットが表示されます。

基本ホーム画面をスライドすると表示される「拡張ホーム画面」には、アプリが表示されます。

- お気に入りアプリ

ホーム画面の下部に、よく使うアプリが配置されています。

ここに配置されているアプリは、基本ホーム画面・拡張ホーム画面のどちらにおいても、共通の内容が表示されます。

- ホーム画面へのウィジェットの追加

1. ホーム画面でアプリおよびウィジェット以外の場所をロングタッチし、「ウィジェット」をタップします。
2. ウィジェット・リストを上下にスライドさせ、配置するウィジェットをロングタッチします。
3. ホーム画面が表示されたら、ウィジェットを配置する場所までドラッグして指を離します。

- 通知ドットの表示

「設定」>「アプリと通知」>「通知」>「アプリアイコン上の通知ドット」をタップしてONにします。

- 壁紙の変更

1. ホーム画面でアプリおよびウィジェット以外の場所をロングタッチし、「壁紙」をタップします。
2. 壁紙を選択し、「壁紙を設定」をタップして、ホーム画面の壁紙を変更します。

- 別のホーム画面へのアプリの移動

1. 移動するアプリまたはウィジェットをロングタッチし、ホーム画面の左端または右端にドラッグします。
2. 別のホーム画面が表示されたら配置する場所でアプリまたはウィジェットを離します。

- ホーム画面の追加

アプリまたはウィジェットをホーム画面の右端まで移動すると、新しいホーム画面が表示されます。指を離してアプリまたはウィジェットを配置することでホーム画面が追加されます。

- アプリまたはウィジェットの削除
 1. ホーム画面から削除したいアプリまたはウィジェットをロングタッチします。
 2. アプリまたはウィジェットを画面の上部に表示される「削除」にドラッグし、指を離します。
- ホーム画面の削除
削除したいホーム画面で、すべてのアプリおよびウィジェットを削除します。

画面の操作

ホーム画面の下の操作部を「ナビゲーションバー」といいます。

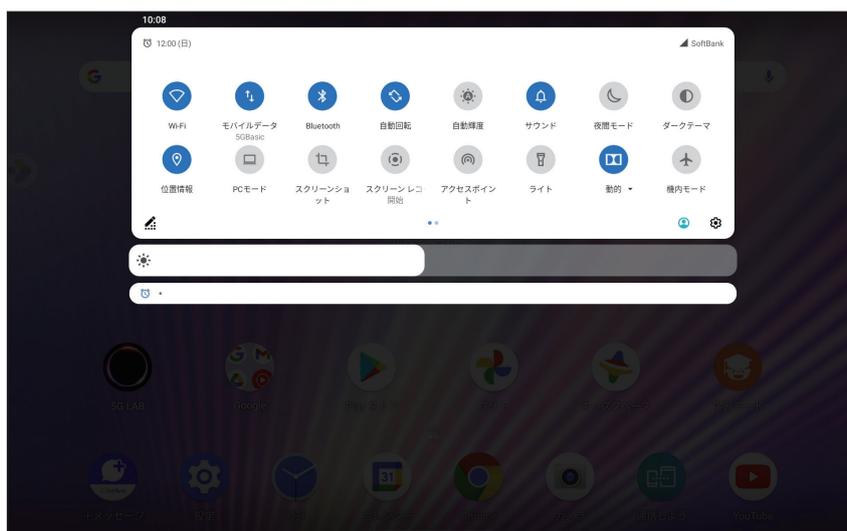
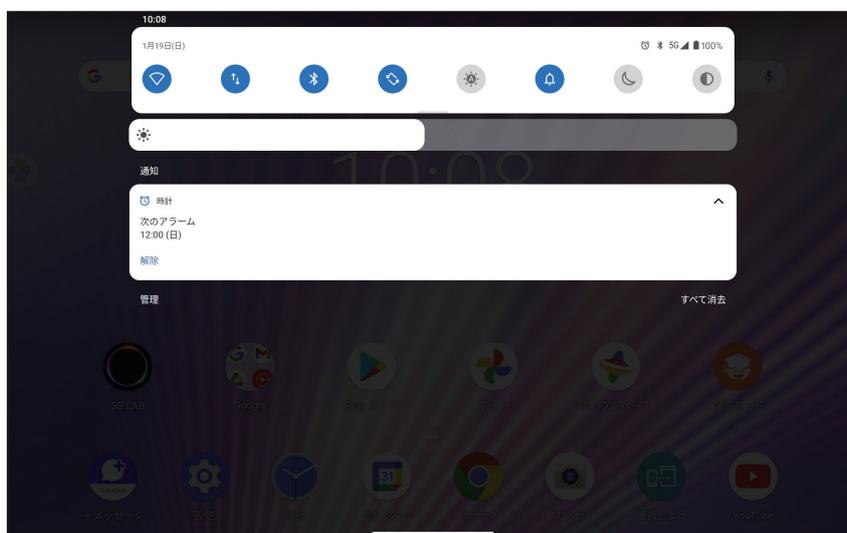
ナビゲーションバーの種類は、「設定」>「ディスプレイ」>「システム ナビゲーション」で設定できます。

ここでは、システム ナビゲーションを「ジェスチャー ナビゲーション」に設定した場合について説明します。

- 前の画面に戻るには、画面の左端または右端から画面中央に向けてフリックし、< が表示されたら指を離します。
- ホーム画面に移動するには、画面の下部から上にフリックします。
-  を左または右にフリックすると、最近使用したアプリが切り替わります。
-  を下から上に引っ張って長押しすると、最近使用したアプリが一覧で表示されます(アプリ履歴画面)。
 - 一覧表示からアプリを開くには、目的のアプリをタップします。
 - 実行中のアプリを停止するには、アプリを上へフリックします。

通知パネルおよびクイック設定パネル

画面の上端から指をスライドさせると、通知パネルとクイック設定パネルが表示されます。



アプリ一覧

ホーム画面を上フリックすると、アプリ一覧が表示されます。

強制再起動

電源キーとボリュームキー(下)を同時に12秒以上長押しすると、本機を強制的に再起動します。

カメラ

「カメラ」アプリを起動して、カメラを使用します。



写真とビデオの撮影

本機の内蔵カメラを使用して、写真の撮影とビデオの録画ができます。

- 写真を撮影するには、をタップします。
- ビデオを録画するには、「動画」>をタップします。
- カメラとインカメラを切り替えるには、をタップします。
- フィルター効果を切り替えるには、をタップします。
- セルフタイマーを設定するには、をタップします。「3秒」「7秒」「10秒」から選択できます。
- その他のカメラ設定を変更するには、>「設定」をタップします。
- 撮影サイズを変更するには、をタップします。「16:10」「4:3」「1:1」から選択できます。

スクリーンショットの取得

電源キーとボリュームキー(下)を同時に押すと、スクリーンショットを撮影します。

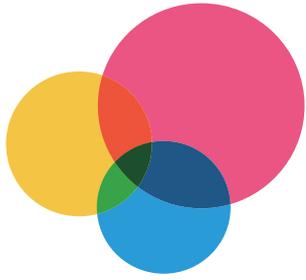
写真とビデオの表示

撮影した写真とビデオは、本機の内部共有ストレージやSDカードに保存できます。写真とビデオは、以下のいずれかの方法で表示できます。

- カメラアプリ使用中にサムネイルをタップします。
- 「フォト」アプリを起動し、「カメラ」をタップします。

取得したスクリーンショットは、本機の内部共有ストレージに保存されます。スクリーンショットは、以下の方法で表示できます。

- 「フォト」アプリを起動し、「Screenshots」をタップします。



Wi-Fi (無線LAN) 接続

Wi-Fi ネットワークを使用するためには、はじめにWi-Fi ネットワークを設定する必要があります。

- Wi-Fi ネットワークの設定
- VPN ネットワークの設定

注意:接続するには有効なアクセスポイントが必要です。

Wi-Fi ネットワークの設定

「設定」>「ネットワークとインターネット」>「Wi-Fi」をタップします。

「Wi-Fiの使用」をONにし、リストのアクセスポイントをタップすると、Wi-Fi ネットワークに接続できます。

セキュリティで保護されたアクセスポイントに接続する場合は、パスワードを入力する必要があります。

VPN の設定

組織内のVPN を使用すると、非プライベート・ネットワーク経由でも安全に個人情報を送信できます。例えば、仕事用の電子メールにアクセスするために、VPN の構成が必要になる場合があります。ご使用になっているVPN に接続するための設定については、ネットワークの管理者にお問い合わせください。VPN の設定は以下の手順で行います。

1. 「設定」>「ネットワークとインターネット」>「VPN」をタップします。
 2.  をタップしてサーバーの名前、タイプ、サーバーアドレスなどのVPN プロファイルを入力し、「保存」をタップします。
 3. VPN サーバー名をタップして、ユーザー名とパスワードを入力してから「接続」をタップするとVPN ネットワークに接続します。
- 登録したVPN の設定を編集または削除するには、 をタップします。

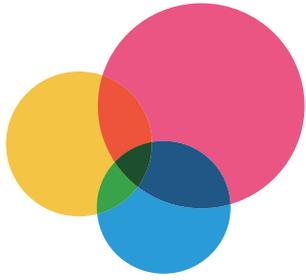
テザリングの設定

テザリングを使用すると、パソコンや他の製品とインターネット接続を共有することができます。

1. 「設定」>「ネットワークとインターネット」>「アクセス ポイントとテザリング」をタップします。
2. 「Wi-Fi アクセス ポイント」>「オフ」をタップし、「Wi-Fi アクセス ポイント」をオンに設定します。
3. 「アクセス ポイント名」、「セキュリティ」、「アクセス ポイントのパスワード」をタップし、アクセスポイント名、セキュリティ、パスワードを設定します。
4. 手順3 で設定した内容をパソコンや他の製品で入力すると、本機とインターネット接続を共有できます。パソコンや他の製品の設定方法については、ご使用の製品の取扱説明書をご覧ください。

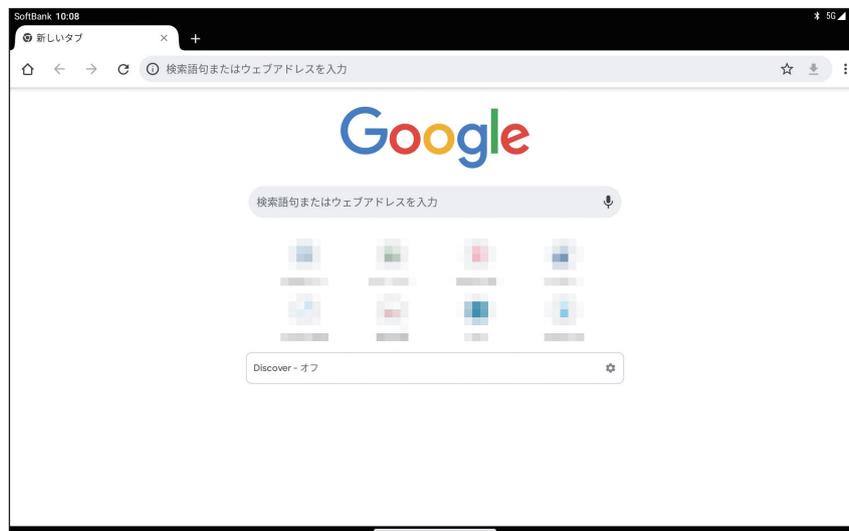
Bluetooth テザリングとUSB テザリングも使用できます。

注意:他のユーザーがモバイルネットワークを共有できるようにするには、アクセスポイント名とパスワードを知らせる必要があります。



インターネット

インターネットにアクセスすることで、ブラウザからウェブページを閲覧できます。
ブラウザを使用するには、「Chrome」アプリを起動します。



ウェブページの閲覧

Chrome アプリを使用してウェブページを閲覧できます。

- ウェブアドレスの入力

ウェブページにアクセスする場合、ウェブページのアドレス「https://」をすべて入力する必要はありません。

例えば「https://www.yahoo.co.jp」を閲覧する場合、アドレスバーに「www.yahoo.co.jp」と入力し、➡️をタップします。

- キーワードの検索
アドレスバーにキーワードを入力すると、ウェブページを検索できます。
検索エンジンの設定をするには、 >「設定」>「検索エンジン」をタップします。
- 新しいタブの追加
新しいウェブページのタブを追加するには、 >「新しいタブ」をタップします。
PC版のウェブページを閲覧するには、 >「PC版サイト」をタップします。
- ウェブページのタブを閉じる
ウェブページのタブを閉じるには、タブに表示されている をタップします。
- ウェブページの更新
ウェブページを更新するには、 をタップします。
前に表示したウェブページに戻るには、 をタップします。
戻る前のウェブページに進むには、 をタップします。

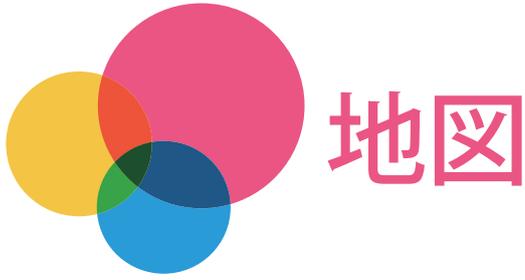
ウェブページや画像の保存

ウェブページやウェブページ上の画像は、本機の内部共有ストレージに保存できます。

- 画像の保存
画像をロングタッチし、「画像をダウンロード」をタップします。
- ウェブページのブックマーク
ウェブページをブックマークに追加するには、 をタップします。
ブックマークしたウェブサイトを表示するには、 >「ブックマーク」をタップします。

ユーザー補助の設定

テキストの縮小／拡大およびウェブページのズームを設定するには、 >「設定」>「ユーザー補助機能」をタップします。



本機の現在地を特定したり、目的地までの経路や場所を検索できます。

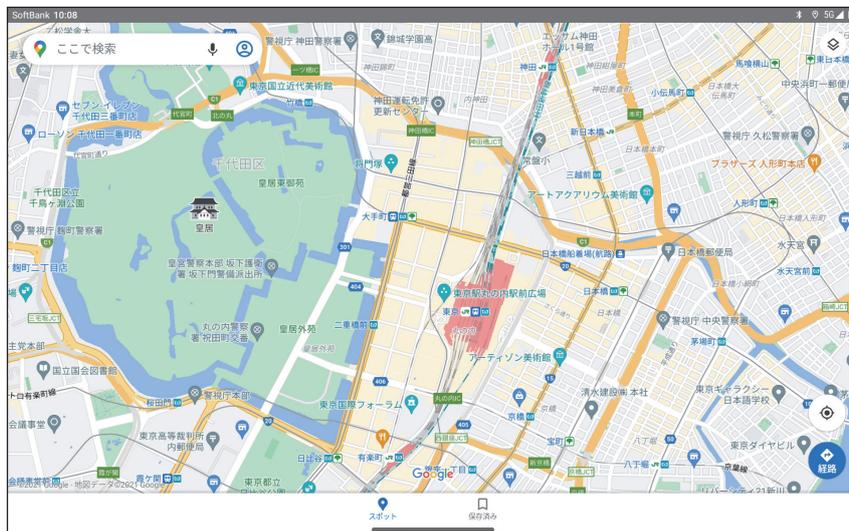
地図を使用するには、はじめに以下の設定をする必要があります。

「設定」>「位置情報」から「位置情報の使用」をオンに設定します。「位置情報へのアプリのアクセス」>「マップ」で「常に許可」または「アプリの使用中的み許可」をタップして位置情報へのアクセスを有効にしてください。

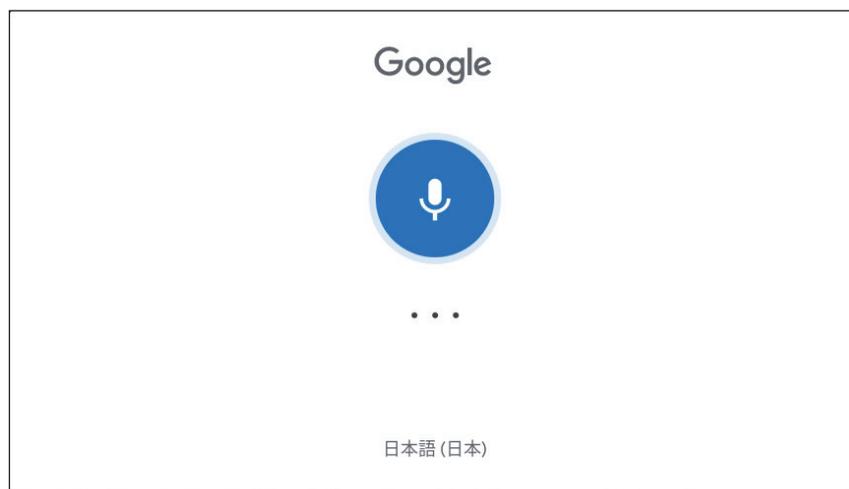
地図を使用するためには、「マップ」アプリを起動します。

場所の検索

検索バーをタップし、探す場所を入力>🔍をタップします。



🗣️ をタップし、本機に向かって話しかけて音声入力することもできます。



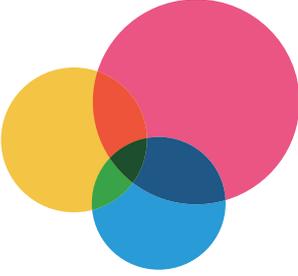
現在地

現在地を表示するには、📍 をタップします。

経路の検索

📍 をタップし、「出発地」と「目的地」の住所を入力します。「出発地」に現在地を指定する場合は、「現在地」を選択します。自動車、公共の交通機関(バス、電車等)、徒歩、自転車の中から移動手段を選択します。





連絡帳

「連絡帳」アプリを使用して、連絡先データの管理を行うことができます。
連絡先を管理するには、「連絡帳」アプリを起動します。

連絡先の管理

「連絡帳」アプリを使用して、連絡先の作成と連絡先のインポートやエクスポートができます。

連絡先の作成

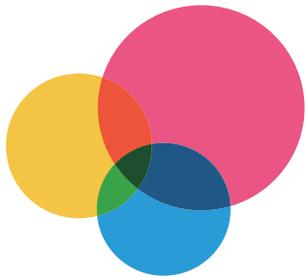
 をタップして連絡先を追加します。

名前、電話番号、住所など、連絡先の情報を入力します。

完了したら、「保存」をタップします。

連絡先のインポートとエクスポート

 > 「設定」 > 「インポート」 / 「エクスポート」をタップして、インポート / エクスポートします。



SD カード

本機の内部共有ストレージにある写真や動画を、SD カードにコピーして、パソコンやその他の機種で読み込むことができます。

SD カードの挿入

本機のカードスロットに、SD カードを挿入します。

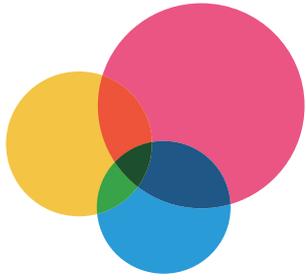
詳しい手順については「安全上の注意と保証およびクイックスタートガイド」をご覧ください。

ファイルのコピー

ここでは本機の内部共有ストレージにある画像ファイルをSD カードにコピーする手順を説明します。

1. 「設定」>「ストレージ」をタップします。
2. 「内部共有ストレージ」をタップします。
3. 「写真と動画」をタップし、コピーしたい画像があるフォルダを選択します。
4. コピーしたい画像をロングタッチして、チェックを入れます。
5. 右上の  >「フォルダにコピー」をタップします。
6. 「SDカードフォルダ」をタップします。
7. 保存するフォルダを選択します。

これでSD カードに画像がコピーされました。



パソコンとの接続

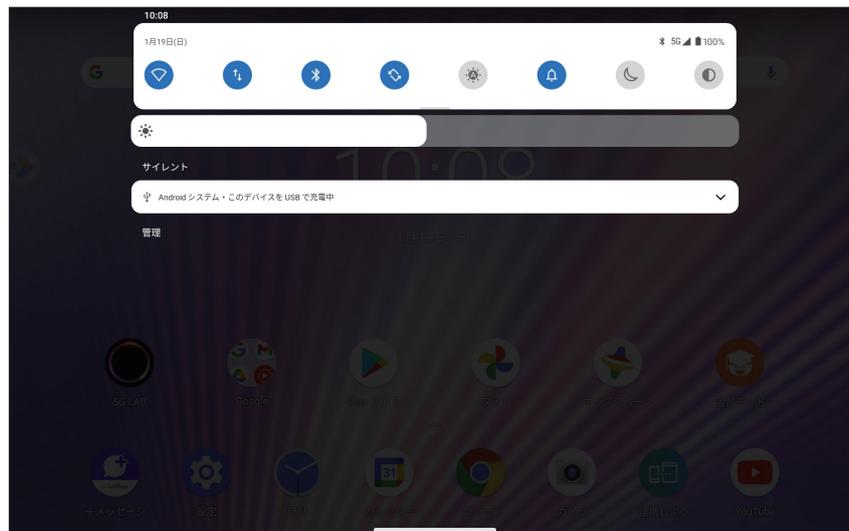
本機とパソコン間でデータを転送できます。音楽、写真、ビデオ、ドキュメントなどを転送します。

本機とパソコンの接続

本機とパソコンをUSB Type-C™ケーブルで接続します。

本機とパソコンを接続した状態で画面の上端から指をスライドさせると、通知パネルに「このデバイスをUSBで充電中」と表示されます。

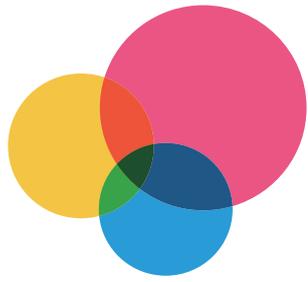
「このデバイスをUSBで充電中」をタップすると、他のオプションが表示されます。



ファイルの転送

以下の手順でファイルを転送します。

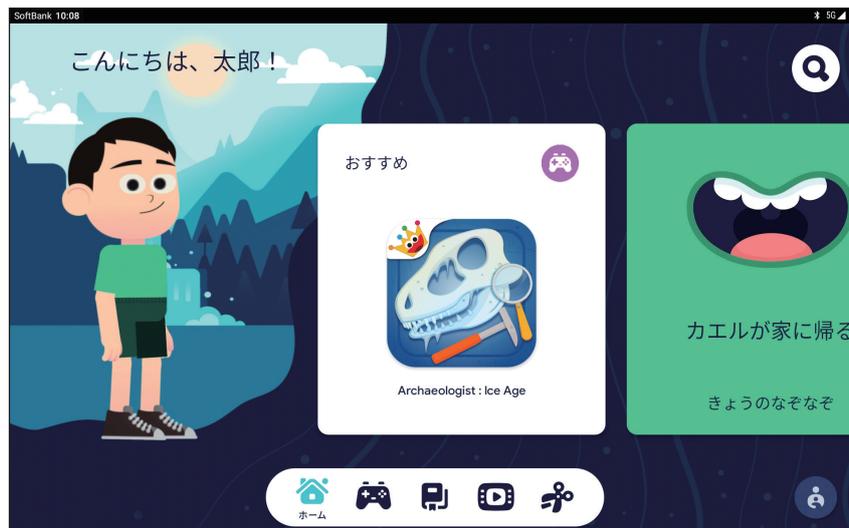
1. 通知パネルを開き、「このデバイスをUSBで充電中」をタップします。
2. 「メディアデバイス(MTP)」を選択します。
3. パソコンを操作してファイルを転送します。



キッズスペース

キッズスペースには、お子様向けに「あそぶ」「よむ」「みる」「つくる」に関連するコンテンツがプリインストールされています。お子様の興味に合わせてコンテンツをカスタマイズすることができます。保護者の方は、「キッズスペース」アプリまたは「ファミリーリンク」アプリからキッズスペースのアプリ管理、利用時間、ウェブサイトアクセスなどを設定することができます*。

* キッズスペースは13歳以下(またはお住まいの国と地域の該当する年齢)が対象のアプリです。利用するには、お子様用のGoogle アカウントが必要です。



キッズスペースの初回設定方法

1. ホーム画面で「キッズスペース」をタップします。
2. 表示内容を確認し、「複数ユーザー設定／切り替え」をタップして、複数ユーザーの設定に移ります。
3. 「ユーザーを追加」をタップします。
4. 表示内容を確認し、「OK」をタップします。
5. お子様の名前を入力し、「OK」をタップします。
6. 「(お子様の名前)に切り替え」>「今すぐセットアップ」をタップします。
7. 画面のロックを解除して、画面に従ってセットアップを行います。
 - 誰がデバイスを使用するのかを尋ねるメッセージが表示されたら、「13歳未満」をタップします。
8. 画面に従ってお子様のGoogle アカウントにログインし、利用させるアプリなどを選択します。
 - お子様のアカウントを新規作成する場合は、「お子様用の新しい Google アカウントを作成する」>「はい、続行します」をタップします。画面の指示に従ってアカウントを作成します。
9. 興味のある分野を選択し、「次へ」をタップします。
 - 以降はお子様と一緒に設定します。
10. 「はじめる」をタップします。
11. キャラクターを作成し、「完了」をタップします。
 - 複数のお子様の本機を利用する場合は、上記手順を繰り返し、お子様のユーザーを追加します。本機に追加できるユーザーは3人です。

キッズスペースへの切り替え

お子様のユーザーに切り替えることでキッズスペースを利用できます。以下の3つの方法があります。

- ロック画面左上のユーザーアイコンをタップし、お子様のユーザー名を選択します。
- クイック設定パネルでユーザーアイコンをタップし、お子様のユーザー名を選択します。
- ホーム画面で「設定」>「システム」>「複数ユーザー」をタップし、お子様のユーザー名を選択します。「(お子様の名前)に切り替え」をタップします。

複数のお子様で利用を切り替える場合や、保護者の方(所有者のユーザー)に戻す場合も同様の操作で切り替えが可能です。切り替えたいユーザー名を選択してください。

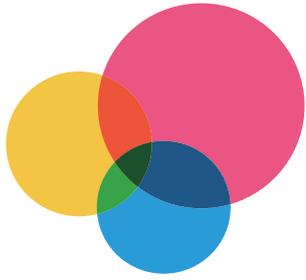
キッズスペースの設定とアプリの管理

保護者の方は、「キッズスペース」アプリまたは「ファミリー リンク」アプリからお子様のアプリを管理できます。

- 「キッズスペース」アプリから設定／管理する場合
 1. 「キッズスペース」アプリのホーム画面で  をロングタッチします。
 2. 「デバイスを設定」をタップします。
- 「ファミリー リンク」アプリから設定／管理する場合
 1. 保護者のアカウントが設定されているデバイスから「ファミリー リンク」アプリを開きます。
 2. お子様の名前の右側に表示された「表示」をタップします。
 3. 「設定を管理」>「Googleキッズスペースの設定」をタップします。
 - アプリを管理する場合は、「すべてのアプリを管理」>管理したいアプリをタップ>「アプリを許可」または「アプリの権限」をタップして設定します。
 - アプリの利用時間の制限をする場合は、制限したいアプリの横の  をタップ>「制限なし」／「常に許可」／「利用時間の上限を設定」／「ブロック」をタップして設定します。

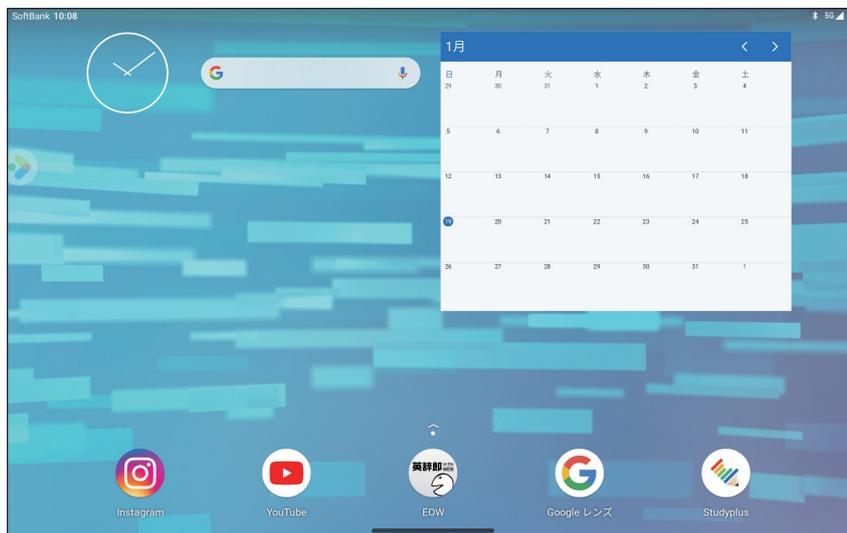
キッズスペースを終了できない場合

- キッズスペースの利用には複数ユーザーの設定が必要です。初期設定時にお子様用の Google アカウントでログインしてしまうと、複数ユーザーの追加ができません。その場合は「設定」>「アカウント」>お子様のアカウントをタップ>「アカウントを削除」>「アカウントを削除」をタップして端末からアカウントを削除してください。
キッズスペースの設定方法については、「キッズスペースの初回設定方法」(P.17)を参照してください。



学習モード

学習モードとは、アプリやウェブサイトを利用して多方面から学習環境を整え、タイマーウィジェットやGoogle カレンダーを活用することにより、勉強時間や学習の予定を管理することができます。2画面分割による複数アプリ表示や、動画視聴時に別のアプリを重ねて表示でき、効率的に学習を進めることが可能です。



学習モードの使用方法

1. ホーム画面で「学習モード」をタップします。
2. 「お子様向け Google ファミリーリンク」の利用を尋ねるメッセージが表示されたら「はい」か「いいえ」をタップします。
 - 「はい」をタップすると、「お子様向け Google ファミリーリンク」で、お子様のアプリ利用の管理や、デバイスの利用時間の制限などができます。
 - * ファミリーリンクアプリが起動しない場合は、アプリ一覧からファミリーリンクアプリを起動して設定をしてください。
 - 「あんしんフィルター」に加入中の場合や「お子様向け Google ファミリーリンク」で利用制限を行わない場合は、「いいえ」をタップしてください。ロック画面を解除して学習モードが利用できます。
3. ロック画面を解除＞画面に従ってファミリーリンクを設定します。

学習モードへの切り替え

以下の2つの方法で学習モードに切り替えることができます。

- ホーム画面で「学習モード」をタップします。
- ロック画面左上のユーザーアイコンをタップし、「学習モード」をタップします。

学習モードを終了する場合は、ホーム画面で「設定」>「システム」>「複数ユーザー」をタップし、「自分(学習モード)」以外のユーザー名をタップします。

学習モードアシスタント

画面右端のアシスタントメニューバーを左にスライドすると、学習モードアシスタントメニューが表示されます。

 をタップすると、表示するアプリや機能を6つまで追加できます。

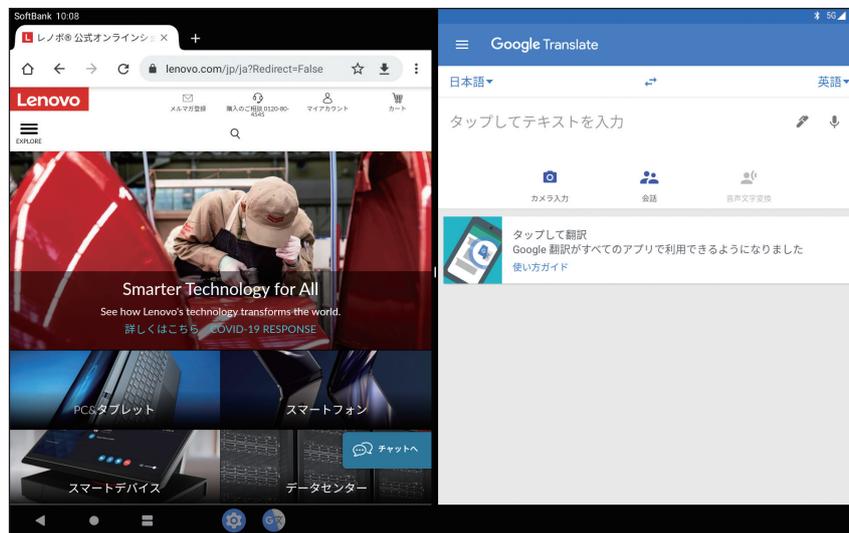
学習モードアシスタントメニューに表示されるアイコンをタップすると、分割画面左側にアプリが表示されます。

- 分割画面非対応アプリの場合は、全画面で表示されます。
- 画面中央のバーを左右にドラッグして、画面の表示幅を自由に変更できます。
- 2画面モードを終了するには、画面中央のバーを画面左端または右端までドラッグします。

PCモード

PCモード^{*}を設定すると、画面下部にナビゲーションボタンと利用中のアプリアイコンが表示されます。アプリアイコンをタップすることでアプリを切り替えることができます。また、2画面を並べて表示することもできます。

* PCモードは、所有者ユーザーでのみお使いいただけます。複数ユーザーでの使用はできません。

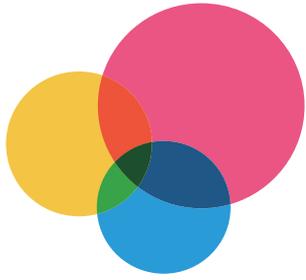


PCモードの使用方法

1. 「設定」>「PCモード」をタップします。
2. 画面右側の「PCモード」をタップしてオンにします。

2画面モードの使用

1. ■ をタップしてアプリ履歴画面を表示します。
2. 左側に表示したいアプリのアイコンをロングタッチ>「分割画面」をタップします。
 - 画面分割に対応していないアプリもあります。
3. 右側に表示したいアプリをタップします。
 - ナビゲーションバーに表示されているアプリアイコンをタップすると、右側に表示されているアプリが切り替わります。
 - 画面中央のバーを左右にドラッグして、画面の表示幅を自由に変更できます。
 - 2画面モードを終了するには、画面中央のバーを画面左端または右端までドラッグします。



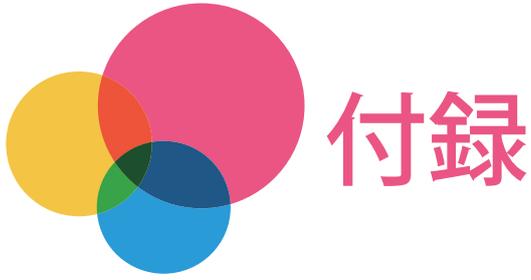
ご家族向けのアプリ

本機には、ご家族でのご利用におすすめのアプリがあらかじめインストールされています。

おもなアプリの概要

 ごっこランド	ごっこ遊び・知育・社会体験が楽しめるアプリです。
 さとふる	ふるさと納税サイト「さとふる」をご利用いただけるアプリです。
 ピタゴラン	画面をなぞるだけで楽しい仕掛けがいっぱいの装置が作れるアプリです。 子供も大人もワクワクする面白い仕掛けが動き出します。
 EOW	英和・和英対訳データベース「英辞郎」をオンラインで利用できるアプリです。
 G CROWN	自宅にいながらバイリンガル講師とのマンツーマンレッスンを受けられる子供向けオンライン英会話です。
 Studyplus	日々の勉強時間を記録し可視化できる学習習慣化アプリです。
 Travelzoo	厳選された旅行情報を検索できるアプリです。

* 本機にプリインストールされているアプリの中には、利用にインターネット接続が必要なものが含まれています。



お問い合わせ先

お困りのときや、ご不明な点などございましたら、お気軽に下記お問い合わせ窓口までご連絡ください。

各種お手続き (My Y!mobile)



待ち時間0分で、いつでも簡単手続き可能です。利用料金／データ量の確認・プラン等各種変更ができます。

<http://ymobile.jp/s/BvhGB>

カスタマーサポート



機種ごとの操作やサービス内容などのお困りごと・お問合せ内容に応じて、最適な解決方法をご案内します。

<https://ymobile.jp/s/QOhGf>

ワイモバイル カスタマーサポート

検索

電子放射に関する注意事項

FCC 準拠に関する声明

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult an authorized dealer or service representative for help.

Lenovo is not responsible for any radio or television interference caused by unauthorized changes or modifications to this equipment. Unauthorized changes or modifications could void the user's authority to operate the equipment.

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Responsible Party:

Lenovo (United States) Incorporated

1009 Think Place - Building One

Morrisville, NC 27560

Telephone: 1-919-294-5900



カナダ産業省の勧告

この製品は、カナダ産業省のライセンス免除RSS 基準に準拠しています。動作は、以下の 2 つの条件に従います：

- (1) この製品が干渉の原因にならないこと、および
- (2) この製品が望ましくない動作を引き起こしかねない干渉を含む他からの干渉を許容すること。

Le présent appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes:

- (1) l'appareil ne doit pas produire de brouillage, et
- (2) l'utilisateur de l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en

韓国におけるクラスB 準拠に関する声明

B 급 기기 (가정용 방송통신기자재)

이 기기는 가정용 (B 급) 전자파적합기기로서 주로 가정에서 사용하는 것을 목적으로 하며 모든 지역에서 사용할 수 있습니다.

日本におけるVCCI クラスB に関する声明

この装置は、クラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。VCCI-B

定格電流が単相20 A 以下の主電源に接続する製品に関する日本の適合宣言。

日本の定格電流が20 A/ 相以下の機器に対する高調波電流規制

高調波電流規格JIS C 61000-3-2 適合品

環境、リサイクル、破棄に関する情報

リサイクルに関する全般的な声明

Lenovo は、情報技術 (IT) 機器の所有者に、機器が不要になったときに責任をもってリサイクルすることをおすすめしています。また、機器の所有者による IT 製品のリサイクルを支援するため、さまざまなプログラムとサービスを提供しています。Lenovo 製品のリサイクルについて詳しくは、<http://www.lenovo.com/recycling> にアクセスしてください。

ブラジルにおける電池のリサイクル情報

Declarações de Reciclagem no Brasil

Descarte de um Produto Lenovo Fora de Uso Equipamentos elétricos e eletrônicos não devem ser descartados em lixo comum, mas enviados à pontos de coleta, autorizados pelo fabricante do produto para que sejam encaminhados e processados por empresas especializadas no manuseio de resíduos industriais, devidamente certificadas pelos órgãos ambientais, de acordo com a legislação local. A Lenovo possui um canal específico para auxiliá-lo no descarte desses produtos. Caso você possua um produto Lenovo em situação de descarte, ligue para o nosso SAC ou encaminhe um e-mail para: reciclar@lenovo.com, informando o modelo, número de série e cidade, a fim de enviarmos as instruções para o correto descarte do seu produto Lenovo.

日本におけるリサイクル情報

日本でのリサイクルまたは廃棄についての詳細は、Web サイト <http://www.lenovo.com/recycling/japan> を参照してください。

インドにおけるリサイクル情報

インドでのリサイクルまたは廃棄についての詳細は、<https://www.lenovo.com/us/en/sustainability-product-recycling> を参照してください。

電池のリサイクル・マーク

- 台湾における電池のリサイクル情報



廢電池請回收

- 米国およびカナダにおける電池のリサイクル情報



US & Canada Only

ENERGY STAR モデルについて



ENERGY STAR® は、米国環境保護庁および米国エネルギー省の合同プログラムであり、エネルギー効率の高い製品および実践を通じてコストを節約し、環境を保護することを目的としています。

Lenovo はENERGY STAR の仕様に準拠した製品をお客様に提供しています。Lenovo TAB6 は、ENERGY STAR プログラム要件に従って設計およびテストされています。

ENERGY STAR 準拠の製品、およびコンピュータの省電力機能を利用することによって、消費電力の削減ができます。消費電力を減らすことで、経費抑制、環境浄化、温室効果ガス排出削減に貢献できます。

ENERGY STAR について詳しくは、<https://www.energystar.gov> を参照してください。

輸出種別に関する注意事項

本タブレット製品は米国輸出管理規制 (EAR) の対象であり、大衆市場輸出種別管理番号 (ECCN) は5A992.c です。本タブレットは、EAR E1 国別リストの禁輸国を除く国に再輸出できます。

保証とアフターサービス

保証について

- 保証期間は、本製品を新規でお買い上げいただいた日より1年間です。
- 修理規定に基づき無料修理を行います。修理規定はソフトバンクのウェブサイトでご確認頂けます。
<https://cdn.softbank.jp/mobile/set/common/pdf/legal/spguide/common/warranty.pdf>
- 保証対象部分は本体です。ケーブル類等や試供品については修理規定の対象外となります。
- 本製品の故障、誤動作または不具合などにより、通信などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 故障または修理により、お客様が登録／設定した内容が消失／変化する場合がありますので、大切な内容などは控えをとっておかれることをおすすめします。なお、故障または修理の際に本機に登録したデータや設定した内容が消失／変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品を分解／改造すると、電波法にふれることがあります。また、改造された場合は修理をお引き受けできませんので、ご注意ください。

アフターサービスについて

修理を依頼される場合、お問い合わせ先または最寄りのワイモバイルショップへご相談ください。その際できるだけ詳しく異常の状態をお聞かせください。

- 保証期間中は修理規定に基づいて修理いたします。
- 保証期間後の修理につきましては、修理により機能が維持できる場合はご要望により有料修理いたします。

尚、補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）の保有期間は生産打ち切り後目安として4年です。

ただし、修理部品の不足等により、期間内であっても有料修理をお受けできない場合がございます。

ご不明な点について

アフターサービスについてご不明な点は、最寄りのワイモバイルショップまたはお問い合わせ先までご連絡ください。

海外でのご利用について

海外でのご利用の際、データ通信が行われないようにするには、「設定」>「ネットワークとインターネット」>「モバイル ネットワーク」でローミングをOFF にしたうえで、優先ネットワークの種類を「3Gのみ」に設定してください。

トラブルシューティング

アプリのインストール中に、空き容量不足を示すメッセージが表示される

本機の空き容量を増やしてから、もう一度インストールしてください。

タッチ・スクリーンが反応しない

電源キーとボリュームキー（下）を同時に12秒以上長押しして再起動してください。

起動できない、または操作を受け付けない

30分間充電してください。

電源が入っている場合は、電源キーとボリュームキー（下）を同時に12秒以上長押しして再起動してください。

Wi-Fi接続でインターネットにアクセスできない

アクセスポイントを再起動するか、本機のWi-Fi設定を確認してください。

本機のスリープ状態を解除できない

電源キーとボリュームキー（下）を同時に12秒以上長押しして再起動してください。

本製品の比吸収率(SAR)について

この製品【Lenovo TAB6】は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および国際ガイドラインに適合しています。

この製品は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準^{*1}ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)で定めており、この通信端末に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この製品を次に記述する所定の使用法^{*3}で使用した場合のSARの最大値は1.28W/kg^{*2}です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

※1 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)に規定されています。

※2 <携帯電話サービス>と同時に使用可能な無線機能を含みます。

※3 この製品を人体の近くでご使用になる場合

この製品を人体の近くでご使用になる場合、身体から22センチ以上離してご使用ください。このことにより、この製品は国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合します。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。また、電波の影響を抑えたい場合には、通話時間を短くすること、または携帯電話機を頭部や身体から離して使用することが出来るハンズフリー用機器の利用を推奨しています。SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい場合は、下記のホームページをご参照ください。

- 総務省のホームページ

<https://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

- 一般社団法人電波産業会のホームページ

<https://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html>

- 世界保健機関

<https://www.who.int/news-room/fact-sheets/detail/electromagnetic-fields-and-public-health-mobile-phones>

「米国連邦通信委員会 (FCC) の電波ばく露の影響に関する情報」

米国連邦通信委員会の指針は、独立した科学機関が定期的かつ周到に科学的研究を行った結果策定された基準に基づいています。この許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。

携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率 (SAR : Specific Absorption Rate) という単位を用いて測定します。FCCで定められているSARの許容値は、1.6 W/kgとなっています。

測定試験は機種ごとにFCCが定めた位置で実施され、下記のとおりに従って人体の近くでご使用になる場合は1.19W/kgです。

人体の近くでご使用になる場合: この製品【Lenovo TAB6】では、一般的な携帯電話の装着法として身体から13センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。FCCの電波ばく露要件を満たすためには、身体から13センチの距離に携帯電話を固定できる装身具を使用し、ベルトクリップやホルスターなどには金属部品の含まれていないものを選んでください。

上記の条件に該当しない装身具は、FCCの電波ばく露要件を満たさない場合もあるので使用を避けてください。

比吸収率 (SAR) に関するさらに詳しい情報をお知りになりたい場合は下記のホームページを参照してください。

FCC Radio Frequency Safety (英文のみ)

<https://www.fcc.gov/general/radio-frequency-safety-0>

Specific Absorption Rate (SAR) Information for this Product (for Japan)

This data communication device 【Lenovo TAB6】 is compliant with the Japanese technical regulations* and international guidelines for exposure to radio waves .

The Japanese technical regulations on human exposure to radio frequency energy have established permitted levels of radio frequency energy, based on the standards developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.

The regulations employ a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit is 2 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue.

The limit includes a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The value of the limit is equal to the value stipulated in the international guidelines recommended by ICNIRP**, which is in collaboration with the World Health Organization (WHO).

The highest SAR value for this product is 1.28 W/kg*** when used close to the body in the below manner****.

While there may be differences between the SAR levels of various products and at various positions, all products meet the Japanese technical regulations.

Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR of the product during operation can be well below the maximum value.

* The technical regulations are provided in Article 14-2 of the Ministry Ordinance Regulating Radio Equipment.

** International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection

*** The value is under simultaneous transmission use conditions.

**** Use close to the body

To use this product close to the body, maintain a separation of 22 cm with no metal (parts) between it and the body. This will ensure this product meets the Japanese technical regulations for exposure and international guidelines for radio wave protection.

The World Health Organization has announced that “A large number of studies have been performed over the last two decades to assess whether mobile phones pose a potential health

risk. To date, no adverse health effects have been established as being caused by mobile phone use.”

For more information about SAR, see the following websites:

- Ministry of Internal Affairs and Communications (MIC)
<https://www.tele.soumu.go.jp/e/sys/ele/body/index.htm>
- Association of Radio Industries and Businesses (ARIB)
<https://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html> (Japanese)
- World Health Organization
<https://www.who.int/news-room/fact-sheets/detail/electromagnetic-fields-and-public-health-mobile-phones>

FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.

The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organization through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. The tests are performed in positions and locations (e.g. worn on the body) as required by the FCC for each model.

The highest SAR value for this model handset as reported to the FCC when tested for use worn on the body in a holder or carry case, is 1.19 W/kg.

Body-worn Operation; This device was tested for typical body-worn operations with the back of the handset kept 13 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 13 cm separation distance between the user's body and the back of the handset. The use of beltclips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly.

The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided. The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of <http://www.fcc.gov/oet/ea/> after

searching on FCC ID O57TABA101LV.

Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on FCC Radio Frequency Safety website at <https://www.fcc.gov/general/radio-frequency-safety-0>.

2021年 11 月第 1 版発行

ソフトバンク株式会社

ご不明な点はお求めになったワイモバイル携帯電話取扱店にご相談ください。

機種名：Lenovo TAB6

製造元：Lenovo PC HK Limited